



ザンビアの経済概況・月報(2014年10月)

主なマクロ経済指標	2013年	2014年
1. 人口 (百万人)	14.5 (est)	14.9 (予想)
2. 人口増加率 (%)	2.8(2000-2010)	2.8(2000-2010)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	24,746(予想)	25,981(予想)
7. GDP成長率 (%)	6.7	7.0(予想)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1(2012)	1,358*1(2012)
9. インフレ率 (%)	7.1(Dec)	7.9(Oct)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	131.26	144.00(Oct)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	423	16.32*2(Sep)
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-80.31*4	-4.76*3(Sep)
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	10,608	819.5*2(Sep)
14. 対日輸出 (百万米ドル)	53.02*4	4.70*3(Sep)
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	10,185	803.18*2(Sep)
16. 対日輸入 (百万米ドル)	133.33*4	9.46*3(Sep)
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,077	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	177 (2012)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,066 (2012)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,852 (2013末)	2,673(Feb)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	3,500 (2013末)	4,700(Sep)
22. 為替レート (対米ドル)	5.39ZMW*5	6.33ZMW(Oct)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.52	12.0 (Oct)

* () 内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
 *2 1USD=6.14ZMW (2014年9月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
 *3 1USD=102円 (2014年9月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
 *2' <2014年2月>
 *3' 主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/金(半製品)
 主要貿易相手国(輸出): スイス 42.6%, 中国 21.6%, コンゴ(民) 9.8%, 南アフリカ 6.4%, オーストラリア 4.1%, その他 15.5%
 主要輸入品目: 発電装置/軽油/内燃機関用燃料/瀝青/天然アスファルト・瀝青岩
 主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 35.3%, コンゴ(民) 16.3%, 中国 9.4%, ケニア 7.6%, インド 4.2%, その他 27.2%
 *4 1USD=94円 (2013年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
 *5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。

<出典>
 1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA) / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4. Census 2010 / 8.: UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO) / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17., 20.-21.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 22.-23.: Bank of Zambia

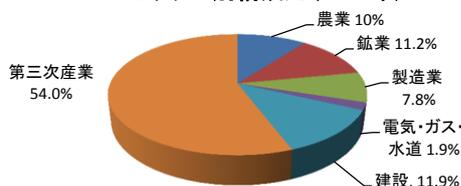
<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ (ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax): 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT): 16%。
- 探掘権料(Mineral Royalty): 6%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、探掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成比(2013年)



(出典: ザンビア中央統計局 (CSO) データから当館作成)

主要な経済ニュース(10月)

1. “ザンビア, FDI流入額が最多” (3日, Times)

国連貿易開発会議(UNCTAD)は、アフリカ内陸開発途上国全16か国中、ザンビアの外国直接投資(FDI)流入額が過去最多であることを発表した。

2. “ヤンバ財務官「ザンビア政府は、民間セクターの為の支援政策を」” (3日, Daily Mail)

ヤンバ財務官は、ザンビア政府は民間セクター主導の経済成長をすべく、投資政策の実施に焦点を当てていくと発言した。

3. “鉱業セクター、付加価値税払い戻しをザンビア政府に強要” (6日, Daily Mail)

ヤルマ鉱業エネルギー水開発大臣は、鉱業セクターが付加価値税の払い戻しを強要している点について、ザンビア政府が失望している旨発言した。

4. “アフリカ開発銀行、貿易促進のため110億米ドルを投資” (13日, Times)

アフリカ開発銀行(AfDB)は、貿易及び経済成長を促進すべく、約110億米ドルをアフリカにおいて必要とされるインフラ建設に投資した。主要な投資としては、橋、ボーダーポスト、光ファイバー・エネルギーセンター、鉄道、空港、港の建設が含まれる。

5. “シチンガ商業貿易産業大臣「ザンビアにおける食用油産業が活気づく」” (14日, Daily Mail)

シチンガ商業貿易産業大臣は、ザンビアにおいて食用油の原材料が入手可能であることから、ザンビアは食用油を国内で生産する能力を有していると発言した。

6. “ザンビアの対外債務、47億米ドルに増加” (15日, Daily Mail)

ザンビアの9月末の対外債務残高は、今年4月の総額10億米ドルのソブリン債の発行を受け、2013年末比12億米ドル増の47億米ドルに増加した。他方で、ユーロ債の発行と銅の輸出額の上昇により、国際収支は4億8600万米ドルの黒字になると予測されている。

7. “世銀及びザンビア政府、越境貿易を促進” (23日, Daily Mail)

ザンビア政府及び世界銀行は、越境貿易及び貿易業者の意識改革を促進すべく、憲章イニシアティブを導入した。同イニシアティブにおいては、国境の係官の意識改革の促進およびインフォーマルな越境貿易を徐々に法的に有効にする取組も含まれている。

8. “ザンビア経済は安泰” (30日, Times)

ザンビア国内のビジネス関係者は、サタ大統領逝去によって、ザンビア経済は短期間な影響を受けるものの、長期的な目標達成は順調に進捗していると発言した。ザンビア経済協会(EAZ)は、サタ大統領の逝去はザンビアに長期的な影響を及ぼすものではないと予測する旨発言した。一方で、民間セクター開発協会(PSDA)は、今後の動向は、短期的に見ると民間セクターに不安をもたらすと発言した。

9. “サタ大統領逝去を受けクワチャが暴落” (30日, Post)

サタ大統領逝去の報道後にクワチャに圧力が加わったことを受け、昨日、ザンビア中央銀行(BoZ)は、市場への介入を実施した。同行がクワチャの下落を止めるべく外貨売り介入を実施する前には、クワチャ通貨は同日正午前までに1ドル6.45クワチャ(0.7%下落)に下落した。

10. “為替市場に平穏が戻り、クワチャが回復” (31日, Post)

サタ大統領逝去を受けて昨日実施されたクワチャ回復の対応策によって、外国為替市場は比較的落ち着いた状態に戻っている。クワチャは昨日、一時1ドル6.50-6.52クワチャに下落したが、正午までに1ドル6.35-6.48クワチャに回復した。